

提言 一 体系図

分野	(What)自治会がやるべきこと	(How)アクションプラン
I 組織運営の強化	(1) 活動者の現状分析及び将来予測をたて、危機意識を共有	“将来予測フォーマット”を活用し、活動者の現状分析及び将来予測を行う
	(2) 「住民ニーズに応え・動ける組織体制」を構築	ア. 特性ごとに活動者を整理する イ. 特性を活かした班編成、協議機関の機能強化を行う
	(3) 取組前の達成目標の設定、ふりかえり班による効果検証	ア. 達成目標の設定 “目標設定シート、企画・5Wシート”を活用 イ. ふりかえり(効果検証)を効果的に行う “ふりかえりシート”を活用
	(4) 理念を作成し、組織の統一を図る	ゴール: 「自治会の存在意義」「進むべき方向性」を文字で示した理念を策定する!
II 勧誘活動の強化	(1) 活動者の現状分析及び将来予測、住民ニーズの分析	ア. 活動者(公民館に顔を出し、動いている会員)の現状分析、将来動向の予測 イ. 住民ニーズの分析
	(2) 重点的ターゲット、自治会の目的と戸別訪問の行動目標の設定	ア. 重点的ターゲットの設定 イ. 自治会の目的と戸別訪問の行動目標を決定
	(3) 事前準備として、ターゲットごとの交渉シート、住民への説明資等をまとめる	ア. ターゲットごとの交渉シートを作成 イ. 訪問時の資料を準備 ウ. 想定問答を作成
	(4) 訪問班を新たに立ち上げ、組織的に戸別訪問する	
	(5) 訪問日、加入促進強化月間の見直し	ア. 訪問日の見直し イ. 加入促進強化月間の見直し
	(6) お祭りやイベントで「自治会PRブース」を設け勧誘	
	(7) 多くの保護者が集まる学校の行事において自治会の取組を紹介し、地域への協力を求める	
	(8) 戸別訪問、行事での勧誘活動のふりかえり	
	(9) 新たに自治会に加入した住民の傾向を具体化	
III 周知活動の強化	(1) 活動者の現状分析及び将来予測、住民ニーズの分析	ア. 活動者の現所分析、将来動向の予測 イ. 住民ニーズの分析
	(2) 重点的ターゲット、自治会の目的と周知活動の行動目標の設定	ア. 重点的ターゲットの設定 イ. 自治会の目的と周知活動の行動目標を決定
	(3) 理想的な自治会像を決め、自治会のイメージづくりを進める	ア. 理想的な自治会像を決定(ワークショップ) イ. イメージづくりにおける周知活動の内容を具体的に決め、一貫性をもって展開していく
	(4) 自治会だよりの内容の見直し	ア. 会長、書記で2018年度の自治会だよりの内容と傾向を具体化 イ. 自治会だよりによって認知度を高め、活動への参加を促進する重点的ターゲットを再確認 ウ. 重点的ターゲットのニーズの具体化、企画書を作成 エ. 事前告知のためのチラシを作成し、大々的に告知する オ. 取組を実施した翌月に実績報告を行う カ. 地域の安全に関する情報、自治会の取組を定期的に発信
	(5) 会員が「地域に貢献している」ことを実感する情報を大々的に発信	
	(6) 就労者が目にする時間帯の活動において自治会パーカーを着用しPR	
	(7) インターネット、SNSを活用した情報発信	
	(8) 住民が求めている情報を行動結果から導き出し、傾向を具体化	
	(9) 周知活動のやり方、自治会長のスキル向上を目的とした講習会を継続的に実施し実践	
	(10) 広報班を新たに立ち上げ、組織的に周知活動を展開する広報を周知活動を展開する	

分野	(What)自治会がやるべきこと	(How)アクションプラン
IV 子育て支援の強化	(1) 活動者の現状分析及び将来予測、住民ニーズの分析	ア. 活動者の現所分析、将来動向の予測 イ. 住民ニーズの分析
	(2) 最もニーズが多い放課後学童の実施(場所の提供)	
	(3) 休日での子育て支援プログラムの充実	
V 自治会活動の担い手の確保の強化	(1) 活動者の現状分析及び将来予測、住民ニーズの分析	ア. 活動者の現状分析、将来動向の予測 イ. 住民ニーズの分析
	(2) 重点的に人手を増やしていく活動を決定	ア. 活動者のリスト化 イ. 重点的に人手を増やしていく活動を決定
	(3) 退職世代(60~69歳)を自治会に誘客し、自治会活動への参加に繋げていく	ア. 退職世代の誘客 イ. 退職世代を自治会活動への参加に繋ぐ
	(4) 自治会活動のポジティブイメージに向けた取組の強化、活動者を募集する	ア. 自治会活動のポジティブイメージに向けた取組の強化 イ. 活動者を募集
	(5) 班長の役割を見直し	